

# 夢に向かって

教育目標 あたたくたくましい心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

長崎市立愛宕小学校

校長 中村 秀一郎

電話 826-6062

新年の 輝かしい光 成人式



長崎市の成人式に出席しました。シンプルで良い雰囲気の中に時間が流れていきました。コ

ロナ禍にあっても、成人式には未来に向かう喜びを感じます。

今年4月1日からは成人年齢が引き下げられる(20歳から18歳に)ことになっています。また、2月に予定されている県知事選での投票権が、18歳以上にはあります。時代の変わり目を感じています。

## 天候に恵まれたお正月



ツマグロヒョウモン(不確かですが)という蝶で、先週の暖かな日差し(1月とは思えない)に誘われて、ビルの壁に留まり、ひなたぼっこしているように見えました。この蝶の多くは4月頃に成虫

になりますので、1月下旬や2月の例年の気温の低さを考えると、早めの成長は心配になります。

子育て真っ最中の保護者の皆様にとって、大人の手をあまりずらわずに成長している子供は貴重な存在に感じます。ただ、子供は成長のどこかの時期で保護者の力を借りるものです。一般的に幼少期の「愛着」が今後の子供の成長を後押しすると言われています。

## 校長講話での紹介

始業式で長崎新聞に掲載されていた小学6年生の作文を紹介し、子供たちに「努力」の大切さについても「目的・目標」に関連して考えてみるように促しました。

数年前の掲載文ですので、地域や氏名は伏せてここに載せますが、御家庭において、「長崎県の同じ世代の子供がこんなことを考えている」という話題提供になればよいなあと思います。

### 逆上がり通し学んだ努力

皆さんは、何かの努力をしてできるようになったことがありますか。できたとき、どんな気持ちになりましたか。

学校の体育で鉄棒の逆上がりをしたとき、私は緊張していました。そこで、自分を信じてやろうと思いながら、逆上がりをしました。しかし、逆上がりができませんでした。はずかしくて、くやしかったです。

だから、公園の鉄棒で逆上がりの練習をしました。だけどできなかったの、次の日、逆上がりができる友達に、地面を思い切りけって、ひじ曲げて、おなかを鉄棒にくっつけられればできるというコツを教えてもらいました。

家に帰ってすぐに、公園で教えてもらったことを思い出しながら練習したけど、できませんでした。だから毎日、練習をしました。まめができた皮がむけたりして痛かったけど、努力してできるようになり、うれしかったです。

このように、逆上がりの練習を毎日してできるようになったから、「努力は絶対に裏切らない。努力すればできる」ということが分かりました。